

まちかど未来塾 だより



9月(September)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	2	3	4	5	6	7
第1週				親カフェふらっと 10:00~12:00		
	9	10	11	12	13	14
第2週					まちかど英会話 10:30~12:00	
	16	17	18	19	20	21
第3週	敬老の日					小平ペアプロ①
	23	24	25	26	27	28
第4週	秋分の日		武蔵村山ペアプロ ③			
	30					
第5週						

8日(日)発達支援4回連続講座 「こどもの登校拒否～不登校をどう理解するか～」田中哲先生
in武蔵村山市 参加希望の方は芋生まで



Mirai Letter 77



オキシトシン

「愛情ホルモン」「絆を強くする」～こんな言葉で代表されるホルモンが「オキシトシン」です。

このオキシトシン～愛情が強すぎるあまり「憎しみ」の感情も強くなる側面があるそうです。ですからこのオキシトシンは愛憎～正反対の感情がどちらも高まる～といったちょっと厄介なホルモンのようです。

親は我が子に対して惜しみなく「愛情」を注ぎます～「あなたのためを思ってやっているのよ!」「お母さんの言うようにしてれば間違いはないのよ、だって先にいろいろと経験してきているんだから～こうした方がいいのよ!」と子どもを支配しようとしたり、ルールを敷こうとしたりします。

母親はこういった言動を我が子に対する「愛情」だと信じています～これが、これが子どもの人生にとって「毒」になっている事とも気付かずに、、、

子どもが親の言うことを素直に聞かない～思春期と言われる10歳～17歳の頃の男子は身長がグ～んと伸び、声変わりといった身体的な変化と同時に精神的にも大きな変化が現れます。孤独を好み、一人で居る事の方が心が休まり、一人の時間を過ごしたがる傾向が現れます。そんな時期に「あなたのためを思って言っているのよ!」なんていわれた日には子どもたちは「うるせえんだよ、いちいち～ほっといてくれよ!」とお決まりのセリフを言い放ち、母親の怒りを買うようになります。

愛情があるからこそ我が子を心配するオキシトシンは逆にその母の愛情を素直に受け取って親の言う通りにできない、その愛情を裏切るような行為に対しては攻撃して阻止しようとする行動を促進するようです。これは息子がオキシトシンによって我が子が自分と違う人格だからと思えないからなのだそうです。

「子どもに家族のルールを破る事を許さない」「子どもが好き勝手なことをやる事は認めない」～これは「愛情ホルモン、絆を強くする」オキシトシンが働いているからのようです。恐るべし「オキシトシン」～家族に息苦しいまでのコントロールをしてしまっている事が解明されているそうです。「可愛さ余って憎さ百倍」ということでしょうか、オキシトシンは愛情ホルモンではなく要注意!「愛憎」ホルモンのようです(T.lmou)